グラフで見る 県内経済

[概況] 緩やかに持ち直している

個人消費は持ち直しており、設備投資は高水準を維持している。一方、住宅投資は弱含んでいる

生産活動　横ばいで推移している

◆７月の鉱工業生産指数（季節調整値）は、前月比3.3％低下の96.9となった。出荷指数は同3.8％低下の98.4となった。在庫指数は同0.4％低下の82.4となった。

◆電子部品・デバイスは生成AI関連の製品が好調であり、緩やかに持ち直している。

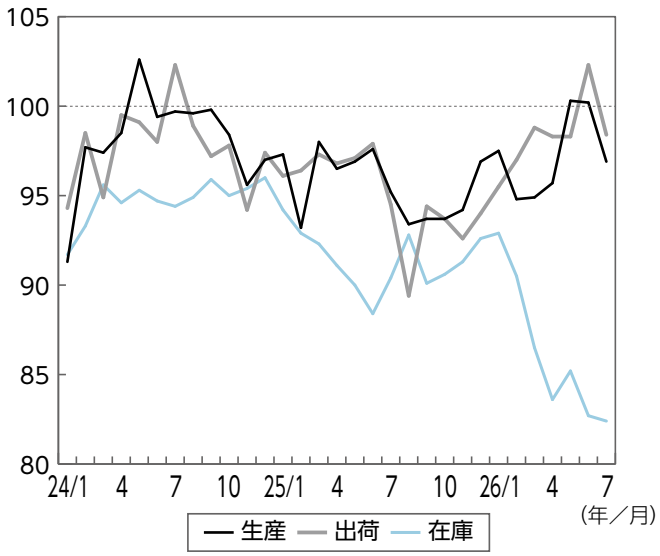
◆汎用・生産用・業務用機械は人手不足や原材料等の調達遅延による影響があるものの、省力化製品などが堅調であり、持ち直しつつある。

◆食料品は値上げなどによって販売数量が減少しており、弱めの動きがみられる。

◆金属製品は建築向けやアウトドア製品などを中心に、生産が低下している。

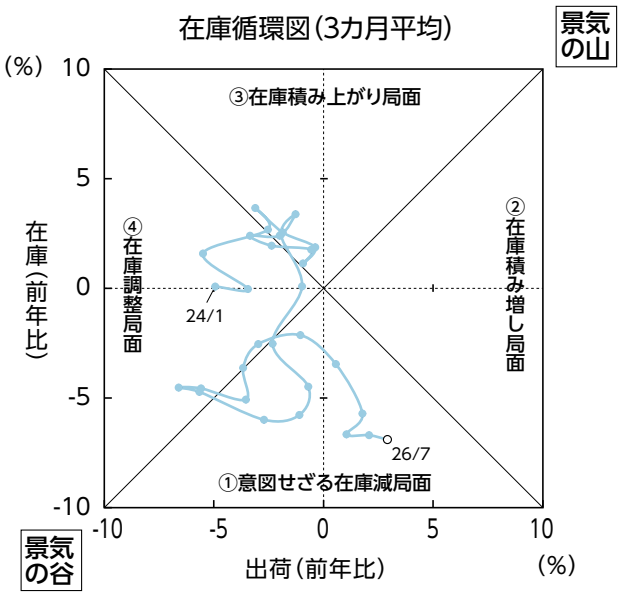
◆５－７月期の３カ月平均値でみた在庫循環図(注)では、「意図せざる在庫減局面」にある。

鉱工業（生産・出荷・在庫）指数（季節調整値）



(資料)新潟県「新潟県鉱工業指数」

在庫循環図（3カ月平均）



(資料)新潟県「新潟県鉱工業指数」
(注)　指数は3カ月後方移動平均で算出

(注)在庫循環図:出荷と在庫の伸び率を比較することによって景気循環を判断する図。循環図では景気循環に応じて、①意図せざる在庫減局面→②在庫積み増し局面→③在庫積み上がり局面→④在庫調整局面、という動きとなり、理論上は反時計回りで変化する

個人消費　持ち直している

◆８月の小売業販売額(注)は前年比3.3％増となった。百貨店・スーパーやドラッグストアなどの増加により、18カ月連続で前年を上回った。

◆９月の乗用車（軽含む）新規登録・届出台数は前年比4.2％減となり、６カ月ぶりに前年を下回った。

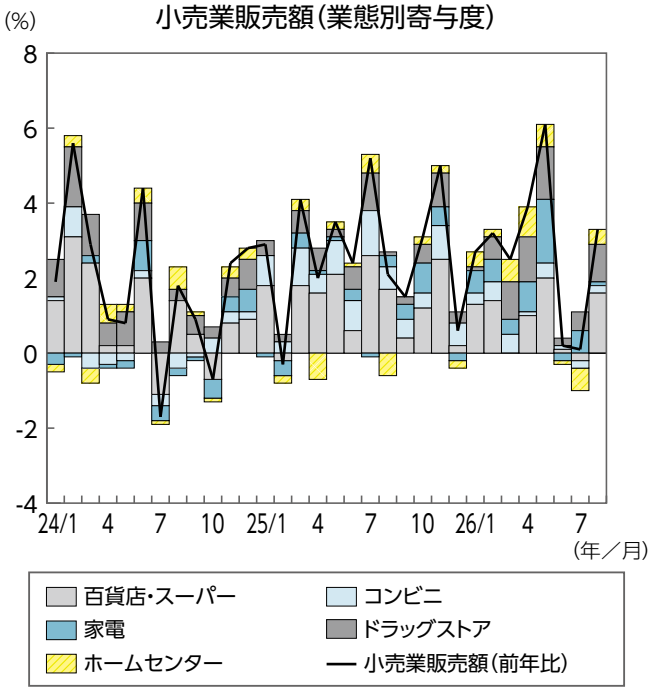
◆普通乗用車の新規登録・届出台数は前年比5.4％増の2,379台となった。

◆小型乗用車は前年比8.9％減の1,208台となった。

◆軽乗用車は前年比8.6％減の3,246台となった。

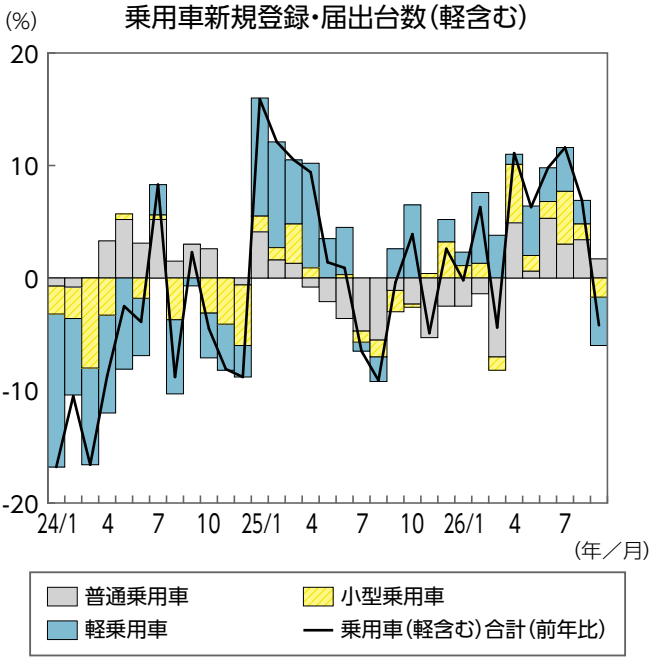
(注)小売業販売額:経済産業省「商業動態統計」の百貨店･スーパー、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニエンスストアの全店販売額を合計したもの

小売業販売額(業態別寄与度)



(資料)経済産業省「商業動態統計」

乗用車新規登録･届出台数(軽含む)



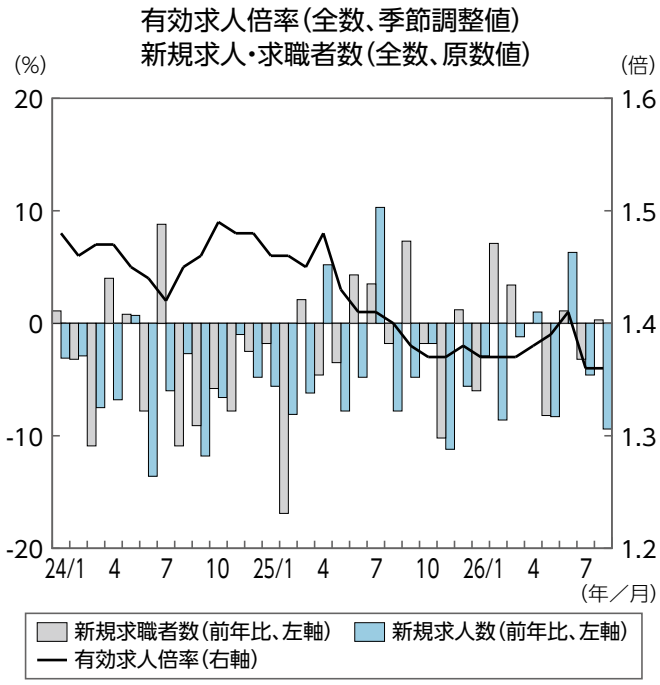
(資料)国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局「新潟県新車新規登録･届出台数調」

雇　用　横ばいで推移している

◆８月の有効求人倍率（パートタイム含む全数・季節調整済）は1.36倍と、前月比横ばいとなった。

◆８月の新規求人数(同･実数)は前年比9.4%減となった。建設業や卸売業・小売業、医療・福祉などが減少したため、２カ月連続で前年を下回った。

◆雇用保険の受給資格決定件数は５カ月連続、受給者実人数は２カ月連続して前年を下回った。



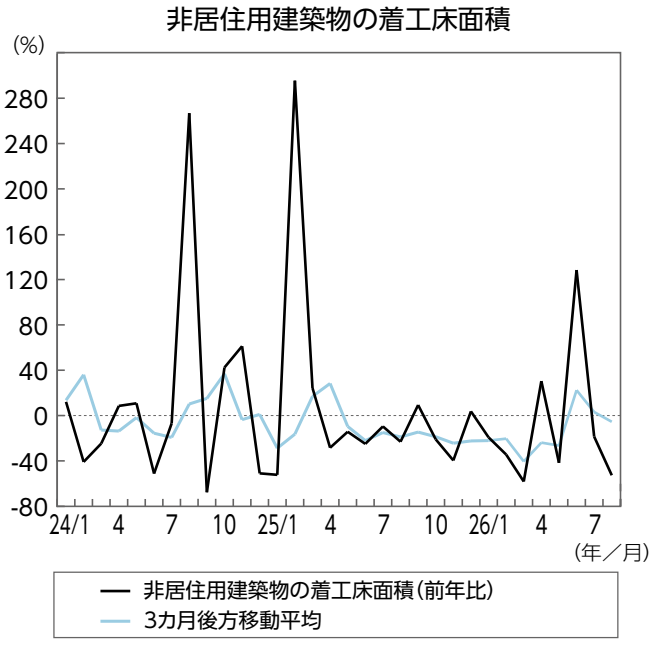
(資料)厚生労働省新潟労働局「一般職業紹介状況」
厚生労働省新潟労働局「労働市場月報」

設備投資　高水準を維持している

◆製造業では、省力化・合理化投資が継続している。ただし、前年に工場新設のための大型投資が複数あった反動から投資額は高水準ながら前年をやや下回っている。

◆非製造業では、情報化に向けた投資が堅調であるほか、建設で社屋の新設を目的とした投資額が増えている。一方、サービスや卸売で更新投資などが減少しており、全体の投資額は概ね前年並みとなっている。

◆８月の非居住用建築物着工床面積は前年比52.7％減となり、２カ月連続で前年を下回った。



(資料)国土交通省「建築着工統計」

住宅投資　弱含んでいる

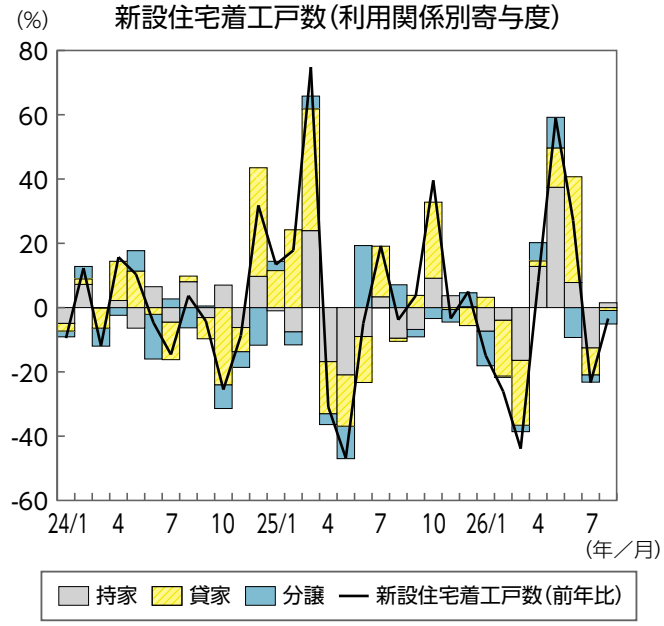
◆８月の新設住宅着工戸数は前年比3.4％減となった。持家が増加したものの、分譲などの減少により、２カ月連続で前年を下回った。

◆持家の着工戸数は前年比2.6％増の398戸となった。

◆貸家は前年比3.5％減の165戸となった。

◆分譲は前年比29.7％減の64戸となった。

新設住宅着工戸数(利用関係別寄与度)



(資料)国土交通省「建築着工統計」
(注)　新設住宅着工戸数には、給与住宅の着工戸数も含まれる

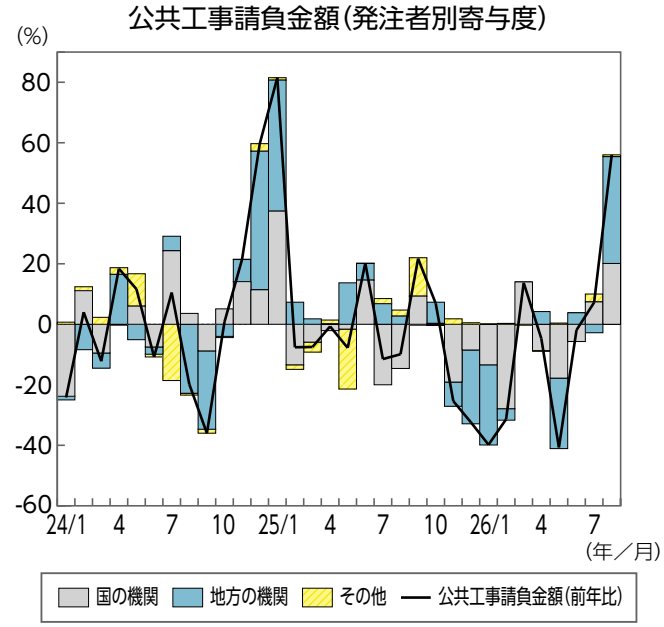
公共投資　横ばいで推移している

◆８月の公共工事請負金額は前年比56.0％増となった。国や県などが増加したことから、２カ月連続で前年を上回った。

◆国の機関（国、独立行政法人等）は２カ月連続で前年を上回った。

◆地方の機関（県、市町村）は２カ月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額(発注者別寄与度)



(資料)東日本建設業保証㈱新潟支店
「前払金保証実績からみた公共工事の動向」